



秩父別町立秩父別中学校 学校だより

平成29年 1月24日発行 第26号

秩父別町2条2丁目 Tel 0164-33-2650

発行責任者：校長 廣瀬 一仁

編集：教頭 佐々 謙彰

<web版につき、写真を削除するなど一部修正しています。>

『バレー部第2次ジュニアキャンプ兼親善大会』

1月21日、22日に雨竜町で行われました。1日目は予選リーグ、2日目は決勝トーナメントでした。予選リーグは、砂川中、滝川江陵中に勝ちましたが、深川中に惜しくも敗れて2位で通過しました。決勝トーナメントでは、1回戦に北竜・妹背牛中に敗れ上位入賞を果たせませんでした。弱点を修正し、2月4日の大会に雪辱を期してほしいと思います。

『バスケット部大西杯』

1月21日、22日に妹背牛町で行われました。今回は、北海道選抜の関係で秩父別中学校からは1名の参加となりました。初戦は、滝川開西中に快勝しましたが、準決勝、3位決定戦と惜しくも敗れ、4位という結果でした。3月までは、北空知の選抜練習などがあり、一已中との合同チームでの大会はありませんが、来シーズンに向け、個々の実力を高めてほしいと思います。

『ケータイ、インターネット実態調査』

2学期の終わりに携帯電話やインターネットに関する実態調査を行いました。

それによると、今年度は55%の生徒が携帯電話またはスマートフォンを持っており、83%の生徒が学校外のパソコンやタブレット端末でインターネットを活用しているという結果でした。

例年とやや変わってきたことは、以前は学年が上がるにつれ、携帯電話の所持率が上がったのですが、近年は小学校の時から所持している生徒が増えていることです。

気になることとしては、通話やメールの相手先が学年が上がるにつれて「その他の知人」の割合が高くなっていることです。他校生徒とのつながりが広まっていることが予想され、ネットに関連した外部の人物とのトラブルが懸念されます。また、使用する場合の「家族の約束」について、スマートフォンでは「約束がある」が86%であるのに対して、パソコン等のインターネット使用では、「約束がある」が48%と低くなっています。

是非、家庭でスマートフォン・パソコン等のインターネットの使用について話し合い、その際、次のことを十分に検討願います。

- ① スマートフォンの使用時間や方法などについて、家庭でルールを決めましょう

～家庭内のルールが、例えば「有料のアプリは入れない」「料金は??を超えない」などの経済的側面からのものだけになっていませんか。確かにそれも家庭にとっては一大事かもしれませんが、使用時間や利用方法・目的もルール化を（ペアレンタルコントロール）～

- ② どんなアプリをどのように使っているのか確認するようにしましょう
～利用の状況についてお子さんとの日常会話を重視する環境をつくっておくことでトラブルにあってもすぐ相談できる態勢につながります。～
- ③ 子どものスマートフォンには、スマートフォン専用のフィルタリングと不必要なアプリをダウンロードしないように機能制限を設定しましょう
～携帯電話回線のフィルタリングに加え、WiFiなどの無線LAN回線への対応も必要となります（これは家庭用ゲーム機や携帯音楽プレーヤーにもあてはまります）。詳細は携帯電話事業者又は販売店等にお問い合わせください。～

『公立高校の出願が始まりました』

1月20日から公立高校の願書提出が始まりました。秩父別中学校でも、17日に願書を書き、19日に学年・教頭・校長の順で3重チェックを行い、20日に提出しました。今後の予定として

1月27日 出願状況の発表（10時）

1月30日 出願変更の受付開始（2月3日16時まで）

3月7・8日 公立高校入学試験（8日面接試験）

となっています。15の春、早くつかんでほしいですね。